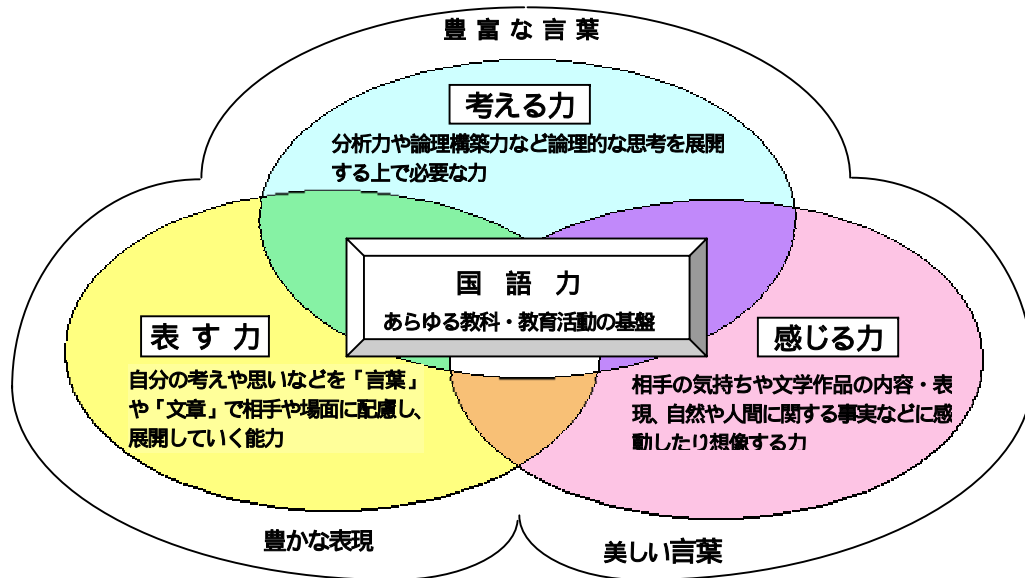


「国語力」は学校文化の基盤

義務教育において、「確かな学力」「豊かな心、健やかな体」をバランス良く育成することは不易な課題であり、その基盤として「学ぶ意欲」に加え「思考力」「想像力」「表現力」を育成することが求められる。「国語力」は、教科「国語」という狭義な捉え方ではなく、「生きる力=人間力」の育成にとって欠かすことのできない力であり、知識や理解だけでなく、生涯学習社会を生き抜くために必要な感性、教養などに大きく関わるものである。



考える力

情報化社会の進展の中で、氾濫した情報の中の「事実」や「根拠のない推測」などを正確に見極め、内在する論理や構造を捉えていく分析力を含め、21世紀の社会での重要な能力

感じる力

相手の気持ちや文学作品の内容、自然や人間に関する事実などに感動したり、表情や態度から言外の思いを察する力、経験のない事柄などを思い描く力

表す力

「言葉」や「文章」などによって、自分の考えや思いを他者に伝えていくために欠かせられない豊かな語彙、深い思索と他者の生き方を認める心による美しい言葉を使った表現力

国語力は3つの基盤



コミュニケーション



知的活動



感性・情緒

- ・音読、役割を決めた群読
- ・磨かれた言葉への感覚を養い語彙の質を高める
- ・短文カードや読解カードなど活用した表現活動
- ・古典や文学作品の紹介

教科国語で

図書館教育で

- ・全教科、全教育活動に図書館活用計画
- ・図書クイズラリーやエプロンシアター
- ・校内読書コンクール
- ・教科教材と同じ著者や題材を図書館に

- ・正しく、美しい日本語を使う日常指導
- ・特に、「話す」「聞く」活動
- ・ディベート学習やグループ討議の工夫
- ・スピーチの機会
- ・レポート作成、新聞記事の活用

他教科で

学校・学年等で

- ・地域の文化や伝統行事、芸能とのふれ合い等、体験学習の場の設定
- ・カルタ、百人一首など、古典、詩歌等を取り入れたイベントの実施
- ・『いい言葉・美しい言葉』を交わす運動等の展開

市域全体で

- ・「ふれあい読書週間」等の設定
- ・ファミリー読書の推奨
- ・夕食時テレビOFF運動
- ・演劇や、群読等のコンテスト、弁論大会やスピーチコンテスト

